

2023年12月14日

ナメカワアルミ株式会社 御中

アルミ押出製品 材料検査成績書記載内容の一部変更について

日本軽金属ホールディングス株式会社
製品安全・品質保証統括室

日軽金アクト株式会社

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

3月29日に公表しました「当社グループの品質等に関する不適切行為に係る調査結果および再発防止等について」のその後の是正活動において、この度弊社を含め当グループ関連会社の押出加工の原材料として購入しているピレットの一部について、成分分析方法がJIS H 1305に適合していないという、日本軽金属ホールディングス株式会社の指針が出されました。つきましては材料検査成績書の記載について以下の通り変更する旨ご連絡申し上げます。

貴社をはじめ関係先の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなり深くお詫び申し上げます。

1. 材料検査成績書の変更する記載内容

1) 日軽新潟及び日軽蒲原製造の押出型材

現行：規格欄 「社内規格」

材料検査成績書欄外 「(*) 本製品は、JIS H4100^{*1} に定める正しい方法で試験し、JIS 規格値を満たしております。」

変更：規格欄 「社内規格」

材料検査成績書欄外 「(*) 本製品は、JIS H4100^{*1}で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。」

2) 理研軽金属工業製造の押出型材

現行：規格欄 JIS 規格番号表示 (例)「JISH4100」

材料検査成績書欄外 記載無し

変更：規格欄 「社内規格」

材料検査成績書欄外 「(*) 本製品は、JIS H4100※¹で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。」

なお、上記対象拠点全ての押出型材の材料検査成績書の記載内容を変更いたします。

※1：代表例としてJIS H 4100を記載しておりますが、JIS H 4040、JIS H 4080が該当する製品もございます。

2. 変更時期

日軽新潟、理研軽金属：2023年12月7日発行分の材料検査成績書より

日軽蒲原：2024年1月1日発行分の材料検査成績書より変更を予定しております

3. 材料検査成績書記載変更の理由

当社では押出型材用のビレットとして、海外を中心とした外部購入品も使用しております。この外部購入ビレットの化学成分については、個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施されており、この分析データを材料検査成績書へ転記しておりました。一方で、押出型材のJISの引用規格であるJIS H 1305に基づいて測定することが定められており、材料検査成績書の表記に関し、日本軽金属ホールディングスより変更すべきとの指針が出された事により、材料検査成績書の記載に関し、変更させていただくことに致しました。

なお、日本軽金属蒲原鋳造所製造のビレットは、JIS H 1305に基づいて正しく測定されております。外部購入ビレットは材質6063材、6061材、6005C材の型材用ビレットであり貴社向け丸棒、材質5056材、2017材、6061材、3003材は対象外であります。今回、当対象丸棒も含め記載を変更させていただきます。

4. 外部購入ビレットの化学成分分析

ビレットは購入先で個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施されております。また、日本軽金属グループとして、年1回、各購入先のビレットのサンプリング分析を実施しており、日本軽金属グループ内での差が無いことを確認し、製品の安全性に影響は無いと判断します。同材料を使用した押出型材においては、JISで定められている検査方法で引張試験を行い、機械的特性を満足していることを確認しております。

5. 今後について

日本軽金属ホールディングス全体で、購入先ビレットの成分分析を含め JIS 適合に向けた体制を構築して参ります。JIS H 1305 に適合した試験・分析方法にて、材料検査成績書に分析値を記載できるよう、2024 年 4 月末には是正完了させる計画です。

以上